



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和7年7月号（第4号）
令和7年6月30日発行

【学校の教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

学校は 「勉強をするところ」「友達と仲良くするところ」「安心・安全なところ」

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かわいあいを大切にする子

1 学期のお話朝会

校長 藤田 昌一

先日開催された「学校運営協議会」の中で、委員の皆様から本校の児童にお褒めの言葉をいただきました。

- 1年生がとてもよくあいさつをしてくれる。また、ふざけたり車道にはみ出たりすることなく、歩道をしっかりと歩いて登下校ができています。
- ごみ集積所の柵を倒してしまい、元に戻そうとしていたら、近くにいた6年生がさっと駆け寄って手伝ってくれた。とてもありがたかった。
- 勤務先の前で、「おはようございます。」のあいさつを交わせる子が増えてきた。

地域の皆様は、常盤小学校の児童のよいところに目を向け認めてくださいます。温かい眼差しに感謝するとともに、このような児童を大変誇らしく思いました。

この協議会では、「学校での様々な取組について、保護者の皆様にもっと知っていただけるとよい」というお言葉もいただきました。そこで、今回は、1学期の「お話朝会（校長講話）」の概要について紹介します。

5月「やる気スイッチ」～とりあえず動こう、始めよう～

○GWの後は、「職場や学校に行くのは気が重いな…」「やる気が出ない…」など、大人も子どもも憂鬱になりがちです。そのため、「やる気」について取り上げました。

- ・東京大学薬学部教授で脳の健康について研究している池谷裕二先生。
- ・「やる気脳の作り方」という本のなかで、「やる気アップ術」を紹介。
- ・「やる気スイッチB」…Bは、Body（からだ） 体を動かせばやる気が出る！
- ・「ついダラダラしてしまうときは、どんなことでもいいから、とにかく体を動かしてみよう。」
- ・体を動かして、とりあえず始めると、どんどんやる気が高まる。このことを「作業興奮」という。
- ・(例)いやいや始めた掃除が、だんだん楽しくなってきた、いつの間にか部屋中をきれいにした。

6月「手のひらを太陽に」～ストップいじめ～

○この時期は、生活や学習、人間関係など、様々な悩みやストレスをためこんでしまう子どもも多くなっています。トラブルも起こりやすいことから、「いじめ」に関する話をしました。

- ・「手のひらを太陽に」の作詞は、「アンパンマン」の作者で有名なやなせたかしさん。
- ・1番の歌詞は「いきているからかなしいんだ」で、「わらうんだ」「うれしいんだ」は2番。
- ・なぜ悲しいが先なのか？ アンパンマンマーチの歌詞にも「たとえ胸の傷が痛んでも」とある。
- ・やなせさんは、自分の経験から「誰しも悲しいことや辛いことはある。それは、生きているからこそ。悲しいことがあるから、楽しいことやうれしいことがよく分かる。」と言いたいのだろう。
- ・それでも、「いじめ」で悲しい思いをすることは、人として許されないこと…。
- ・「同じ行為、同じ言葉でも、感じ方は人それぞれ」「いじめに気付いた時、どうする？」（後略）